

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	セントラル・パーク てんま			
○保護者評価実施期間	R 7 年 2 月 1 日 ～ R 7 年 2 月 2 8 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数)	12
○従業者評価実施期間	R 7 年 2 月 1 日 ～ R 7 年 2 月 2 8 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	R 7 年 3 月 2 1 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもに特化した専門的な支援	・子どもの特性に応じた個別支援計画を作成し、適切な支援を提供 ・専門知識を持った職員が対応し、子どもの発達や行動の特徴に合わせた支援を実施 ・保護者とも連携し、子どもへの対応方法を共有	・定期的な研修を実施し、職員の専門性を向上 ・個別支援計画の見直しを定期的に行い、より子どものニーズに合った支援を提供 ・外部の専門家（療育士・心理士など）との連携を強化し、より専門的なアプローチを取り入れる
2	安心できる環境	・施設内の清潔・安全管理を徹底し、子どもが過ごしやすい環境を整備 ・職員が共感的に対応し、子どもが安心して通えるように配慮 ・子どもの特性に応じた空間づくり（視覚的な案内、バリアフリー対応など）	・防災訓練や事故対応訓練の実施回数を増やし、子どもや職員の安全意識を高める ・子ども自身が安心して過ごせるよう、職員との信頼関係をさらに深める取り組みを強化 ・保護者に対して、施設の安全対策や環境整備について定期的に情報共有
3	保護者への説明が丁寧	・初回利用時に、支援内容や運営規程、利用者負担などを丁寧に説明 ・支援計画の説明時には、保護者の意見を取り入れながら進める ・連絡帳や面談を活用し、日々の支援内容を丁寧に伝達	・保護者向けの説明会や勉強会を定期開催し、支援内容への理解を深めてもらう ・SNSや通信を活用し、事業所の活動内容をより分かりやすく発信 ・保護者からの意見を積極的に受け入れ、支援内容の改善に反映
4	支援計画の適切な作成	・子どものニーズや課題を客観的に分析し、適切な個別支援計画を作成 ・定期的なモニタリングを行い、計画に基づいた支援が実施されているか確認 ・保護者との面談を通じて、計画の内容を共有し、フィードバックを反映	・支援計画の評価システムを導入し、PDCAサイクルを強化 ・定期的に計画を見直し、より効果的な支援が行えるよう改善 ・他の事業所や専門機関と連携し、より質の高い支援計画を作成

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域や他機関との交流不足	・事業所内での活動が中心になり、外部との交流の機会が少ない ・地域の学校や福祉機関との連携が十分に構築されていない ・保護者の中には、外部との交流をあまり必要と感じていない方もいる	(1)地域の施設や団体との連携強化 ・地域の学校・特別支援学校と連携し、情報共有や交流の場を増やす (2)外部専門家との連携 ・他の放課後等デイサービスや療育機関と情報交換を行い、合同研修やイベントを実施 ・外部講師を招き、子ども向けの特別プログラムを導入
2	保護者支援の不足	・保護者向けの支援プログラムが少なく、情報共有の場が不足 ・忙しい保護者にとって、参加しやすい時間や形式での支援が提供されていない ・事業所側からの情報発信が一方通行になっており、保護者が積極的に関わる機会が少ない	(1)ペアレントトレーニングや勉強会の開催 ・児童発達支援の専門家を招き、育児の悩みや対応方法について学べる場を提供 ・オンライン勉強会を導入し、参加しやすい環境を整備 (2)保護者同士の交流の場を作る ・定期的に「保護者カフェ」や座談会を開催し、悩みを共有できる機会を増やす ・きょうだいの見向けイベントを企画し、家族全体での支援体制を強化 (3)情報提供の強化 ・事業所の活動報告や支援内容を定期的にSNSや通信で発信し、情報を共有 ・連絡帳や面談で、保護者の意見を積極的にヒアリングし、支援に反映
3	安全対策の周知不足	・訓練が実施されているが、その内容が保護者に伝わっていない ・事故防止マニュアルや緊急時対応の説明が不十分 ・施設の安全対策がどのように機能しているのかが分かりにくい	(1)防災・安全訓練の周知強化 ・訓練の実施日や内容を事前に通知し、終了後には報告書を配布 ・訓練の様子を写真や動画で保護者に共有し、実際の対応を見てもらう (2)安全マニュアルの見直しと保護者向け説明会の実施 ・事故防止・緊急時対応のマニュアルを保護者向けに分かりやすく説明 ・定期的に防災・安全対策の説明会を開催し、保護者にも参加してもらう (3)緊急時対応の確認テストを実施 ・職員向けに定期的な安全研修を行い、対応の精度を向上 ・子ども向けにも、避難訓練を遊びの要素を交えて実施し、身につけやすくする